

第7回 立川市多文化共生推進プラン検討会議 会議録（要旨）

■開催日時 令和7年7月1日（火） 午後7時～午後8時30分

■開催場所 立川市役所 2階 209会議室

■出席者 <委員>大槻委員、倉八委員、北岸委員、木下委員、黄委員
関口委員、藤原委員、
<事務局>中村市民部長、福邊市民協働課長、早野多文化共生係長

■欠席者 上田委員、渡邊委員

■傍聴者 なし

■次第

1. 開会

2. 議題

（1）立川市の外国人の状況について

（2）立川市第4次多文化共生推進プランの実績について

（3）立川市第5次多文化共生推進プランの取組について

3. その他

・今後の予定について

■配布資料

1. 立川市の外国人の状況について

2. 立川市第4次多文化共生推進プラン 各事業の取組状況

3. 第4次多文化共生推進プランの実績

4. 立川市第5次多文化共生推進プラン

5. 第5次多文化共生推進プランの取組

6. 第5次多文化共生推進プランの推進に向けて

7. 協力確認書

（参考）

・外国人住民向けポケットカード

■会議内容（要旨）

1. 開会

2. 議題

（1）立川市の外国人の状況について

○資料1 立川市の外国人の状況について

- ・令和7年1月1日時点の外国人の人数は、6,078人、人口の3.26%で、前年より+614人、11.2%の増加率となっている。
- ・ベトナム、ネパール、インドネシア、ミャンマーの方が特に増えていて、特定技能等の就労が認められる在留資格の方が増えている。
- ・東京都が令和7年度に多文化共生推進指針を策定した。今後も外国人が増加することが予測されるため、より多文化共生を進めていく必要がある。

（2）立川市第4次多文化共生推進プランの実績について

○資料2 立川市第4次多文化共生推進プラン 各事業の取組状況

○資料3 第4次多文化共生推進プランの実績

- ・令和6年5月市のホームページがリニューアルし、多言語自動翻訳機能・やさしい日本語変換ツールが導入された。
- ・令和6年度から新たに外国人児童・生徒生活支援事業として子ども日本語教室を開催した。

（3）立川市第5次多文化共生推進プランの取組について

○資料5 第5次多文化共生推進プランの取組

○資料6 第5次多文化共生推進プランの推進に向けて

●プラン取組における現時点の状況について

- ・基本方針Ⅰ：コミュニケーション支援
日本語教室のボランティアが不足している。1対1で教えることが難しい教室もある。
- ・基本方針Ⅱ：生活支援
外国人の情報の受け取りについて、防災情報へのアクセスは少ないが、日本語教室等の興味のある情報にはアクセスしている。
- ・基本方針Ⅲ：多文化共生の意識啓発と社会参画支援
特定技能所属機関の状況を把握し、事業所を訪問し意見交換を行った。
- ・外国人市民の実態として、SNS上のつながりはあるが、形のあるコミュニティを形成していない。Face to Faceの関係を構築することが難しい。
- ・個人のネットワークも大事だが、外国人支援団体、地域の団体、外国人を雇用している事業所との連携をこれまでより強化していく必要がある。

●課題認識

- ・日本語教室のボランティア不足が課題となっている。昨年度からボランティア入門講座を開催したが、実際の活動に結び付く方が少ない。

- ・コミュニティは対面のものだけでなく、SNS も立派なコミュニティなので、そこに入っていくことも必要なのではないかな。

- ・広域のつながりではなく、立川市という地域の中でのネットワーク、コミュニティがない。地域の外国人と顔の見える関係を構築して、地域の祭や防災訓練への参加につなげたいと考えている。

●その他

- ・令和 8 年度以降の会議体について、就労目的の外国人が多いので、外国人を雇用する事業所に入ってもらえると良いのではないかな。

- ・東京都つながり創生財団に入ってもらえると、実践的な事例紹介やスキルの提供が得られるのではないかな。

3. その他

●今後の予定について

- ・今年度は、2 回開催予定

- ・次回は、1 月頃開催予定。日程が決定次第通知する。